



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年1月30日

上場会社名 かどや製油株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2612 URL <http://www.kadoya.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小澤 二郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理部長 (氏名) 戸倉 章博 TEL 03-3492-5545
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	17,897	7.4	875	△38.3	1,264	△22.1	781	△17.8
26年3月期第3四半期	16,664	0.4	1,418	△30.6	1,624	△22.7	950	△29.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	83.11	—
26年3月期第3四半期	101.15	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	25,191	20,726	82.3	2,204.94
26年3月期	24,445	19,845	81.2	2,111.25

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 20,726百万円 26年3月期 19,845百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
27年3月期	—	0.00	—		
27年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年3月期の業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,500	11.9	1,400	△15.9	1,400	△29.0	880	△23.6	93.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	9,400,000株	26年3月期	9,400,000株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	179株	26年3月期	179株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	9,399,821株	26年3月期3Q	9,399,821株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

尚、上記予想に関する事項は添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、日銀の追加金融緩和政策により一段と円安が進み、また消費税率の引上げ延期や衆議院の解散総選挙の結果により国内株価は上昇しました。しかし、個人消費については、消費者マインドは低下傾向にあり、景気の回復には時間がかかるものと思われます。

食品業界におきましては、急激な為替円安による原料仕入価格の高騰への対応、また食品の安全確保への取り組み等が課題となっており、今後も引き続き厳しい状況が続くと予想されます。

このような状況下、当社は昨年からの原料価格の高騰に対し漸次販売価格の是正を行ったことや消費税率の引上げ等の影響により、ごま油の販売数量は前年同期比4.2%減、食品ごまは前年同期比5.1%減と夫々販売数量は減少しましたが、値上げにより売上高は前年同期比7.4%増となりました。

コスト面では、修繕費が前期を下回ったこと、既存設備の償却が進んだこと等一部減少要因はあったものの、昨年からの原料価格の高騰や円安の影響が大きく、売上原価は前年同期比18.9%増となりました。

一方、販売費及び一般管理費は、販売数量減に伴う販売経費の減少やコスト削減等により前年同期比6.0%減となりました。

この結果、売上高は17,897百万円(前年同期比1,233百万円増)、経常利益は1,264百万円(前年同期比360百万円減)、四半期純利益は781百万円(前年同期比169百万円減)となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

①ごま油事業

ごま油事業におきましては、消費税率の引上げや製品値上げによる消費者やマーケットの低価格指向の影響が予想以上に強かったこと等から販売数量が落ち込みましたが、売上高は値上げにより前期を上回る結果となりました。

売上原価は、依然原料購入価格が高水準で推移しており、かつ円安傾向が続いたこと等により前年を上回る状況であります。

このような環境下、動きが鈍かった同業他社も製品の値上げを実施し始めたことで当社製品との価格差は縮まりつつあることから、当社では家庭用製品を中心に積極的に販促活動を行い、販売数量の回復に努めております。

以上の結果、売上高は14,437百万円(前年同期比1,005百万円増)、セグメント利益は617百万円(前年同期比413百万円減)となりました。

②食品ごま事業

食品ごま事業におきましては、製品の値上げを打ち出した結果、ごま油同様、販売数量は落ち込んだものの売上高は前年を上回る結果となりました。

原料購入価格及び売上原価は前期を上回る状況であります。

こうした環境下において、当社は利益率が高いねりごまを重点商品と位置づけ、取引先の新規商品に採用される等、積極的に拡販に努め利益確保に繋げております。

以上の結果、売上高は3,455百万円(前年同期比226百万円増)、セグメント利益は256百万円(前年同期比131百万円減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の資産につきましては、前期末に比べ745百万円増加しました。これは現金及び預金が3,007百万円減少するなどの減少要因があったものの、売掛金が875百万円、棚卸資産が2,257百万円およびその他の資産が622百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前期末に比べ134百万円減少しました。これはその他流動負債が288百万円増加するなどの増加要因があったものの、買掛金が232百万円、未払法人税等が110百万円及び賞与引当金が91百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前期末に比べ880百万円増加しました。これは四半期純利益781百万円計上及び配当金の支払い469百万円により利益剰余金が311百万円並びにその他有価証券評価差額金が203百万円及び繰延ヘッジ損益が365百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月14日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,927	4,920
売掛金	4,677	5,552
商品及び製品	942	1,173
仕掛品	797	997
原材料及び貯蔵品	3,322	5,149
その他	383	886
流動資産合計	18,050	18,679
固定資産		
有形固定資産	4,599	4,484
無形固定資産	25	21
投資その他の資産	1,769	2,006
固定資産合計	6,394	6,511
資産合計	24,445	25,191
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,315	2,082
未払法人税等	312	201
賞与引当金	181	89
役員賞与引当金	54	31
その他	924	1,213
流動負債合計	3,788	3,618
固定負債		
退職給付引当金	697	744
資産除去債務	73	73
長期未払金	40	28
固定負債合計	811	846
負債合計	4,599	4,465
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,160	2,160
資本剰余金	3,082	3,082
利益剰余金	14,292	14,603
自己株式	△0	△0
株主資本合計	19,535	19,846
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	273	476
繰延ヘッジ損益	37	402
評価・換算差額等合計	310	879
純資産合計	19,845	20,726
負債純資産合計	24,445	25,191

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	16,664	17,897
売上原価	10,810	12,855
売上総利益	5,854	5,042
販売費及び一般管理費	4,436	4,167
営業利益	1,418	875
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	18	18
為替差益	169	366
雑収入	23	10
営業外収益合計	213	396
営業外費用		
保険解約損	1	1
支払手数料	4	4
たな卸資産廃棄損	0	1
雑損失	1	0
営業外費用合計	7	7
経常利益	1,624	1,264
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除売却損	16	13
特別損失合計	16	13
税引前四半期純利益	1,607	1,250
法人税、住民税及び事業税	542	448
法人税等調整額	113	20
法人税等合計	656	468
四半期純利益	950	781

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,607	1,250
減価償却費	407	372
その他の償却額	4	1
賞与引当金の増減額(△は減少)	△87	△91
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△27	△23
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△10	46
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
受取利息及び受取配当金	△19	△20
支払手数料	4	4
為替差損益(△は益)	△2	△3
有形固定資産除売却損益(△は益)	16	13
保険解約損益(△は益)	1	1
たな卸資産廃棄損	0	1
売上債権の増減額(△は増加)	△64	△875
たな卸資産の増減額(△は増加)	△884	△2,259
その他の資産の増減額(△は増加)	21	△118
仕入債務の増減額(△は減少)	△182	△232
その他の負債の増減額(△は減少)	△301	54
小計	483	△1,878
利息及び配当金の受取額	46	68
支払手数料の支払額	△5	△5
法人税等の支払額	△937	△553
営業活動によるキャッシュ・フロー	△414	△2,369
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△221	△144
無形固定資産の取得による支出	△7	—
有形固定資産の売却による収入	0	0
有形固定資産の除却による支出	△2	△2
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
貸付けによる支出	△4	—
貸付金の回収による収入	10	1
保険積立金の積立による支出	△23	△21
保険積立金の解約による収入	19	16
その他	△1	△14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△234	△168
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△703	△469
財務活動によるキャッシュ・フロー	△703	△469
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,352	△3,007
現金及び現金同等物の期首残高	8,144	7,912
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,792	4,905

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合 計
	ごま油	食品ごま	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,432	3,229	16,661	2	16,664
計	13,432	3,229	16,661	2	16,664
セグメント利益	1,030	387	1,417	0	1,418

(注) 1. 「その他」の区分には、「仕入商品販売」を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,417
「その他」の区分の利益	0
四半期損益計算書の営業利益	1,418

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合 計
	ごま油	食品ごま	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,437	3,455	17,893	4	17,897
計	14,437	3,455	17,893	4	17,897
セグメント利益	617	256	873	1	875

(注) 1. 「その他」の区分には、「仕入商品販売」を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	873
「その他」の区分の利益	1
四半期損益計算書の営業利益	875

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。